



# 七時雨山

新日本百名山  
1063m

# トレッキング案内

宮沢賢治の詩集『春と修羅』にも登場する七時雨山。その印象的な山名は、天候が一日に何度も変わるところからその名がついたといわれている。

岩手県八幡平市  
四季の郷 八幡平  
問い合わせ 岩手県八幡平市  
八幡平市観光協会  
☎0195・78・3500  
http://www.hachimantai.or.jp



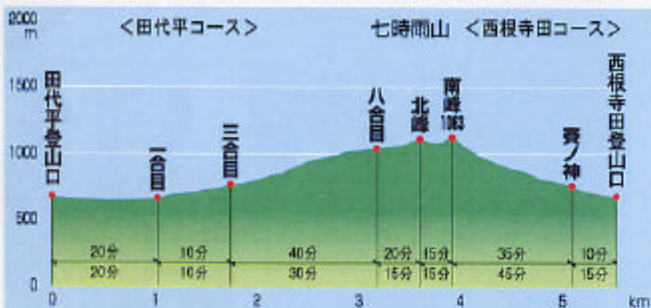
上、ウツロクサ 右  
南峰からの旧西沢  
町方面の展望  
下、午がお出迎え  
右下、田代山のツツ  
ジ(正面は七時雨山)



明るく開けた田代平高原と七時雨山  
(建物は七時雨山荘)

## 田代平コースから七時雨山

●日程=日帰り ●累積標高差=481m ●歩行時間=3時間25分



標高1063mの七時雨山は登山家・岩崎元郎氏による「新日本百名山」に選ばれ、脚光を浴びている。山頂への登山道は北面の田代平から田代平コースと、南面の西根寺田コース、北西面の高清水コースの3本。

平成17年秋に新設された七時雨駐車場が登山口。牧草地の緩やかな道を登る。昭和初期の水田跡地を通り、七時雨山荘からの作業道へ合流すると一合目(駐車場から750m)。短角牛が放牧された見晴らしのよい牧草地を約850m登りきると三合目の標識が立っている。

ここから本格的な登りがはじまる。ここから本格的な登りがはじまる。ここから本格的な登りがはじまる。

展望が開けてくる。尾根沿いを行くと八合目で、道が右に直角に曲がる。ササを分けて登ると一等三角点のある七時雨山北峰だ。展望はさらに15分ほど先の南峰の方が優れている。南峰は、北峰より3m高い1063mで、岩手山や八幡平など360度の大パノラマが酒喉できる。

下山は往路をたどるが、右記の西根寺田コースを下るのもよいだろう。

## 高清水コースから

双耳峰の山容がよく見える荒屋新町側からの標高差580m、約4.3kmの正面コース。登山口には七時雨一里塚があり、林道待避所に駐車できる。

三合目までは七時雨牧場内の鹿角街道を走らせ、分岐を左に行く。六合目から七合目は展望が良く風が心地よい。七合目からは広葉樹林帯となり、南峰山頂へ着く。360度視界が開け爽快

田代山 田代平を挟み七時雨山と対峙する標高945mの山で、コースはよく整備されている。山中はツツジをはじめエンレイソウなど花が多い。また、

## 西根寺田コースから

両側の西根寺田登山口からの標高差400m、約1.7kmのコース。

登山口には40台ほどの駐車場がある。途中はかつての鹿角街道で、助け小屋跡や裏ノ神がある。ここからほぼ直登。広葉樹林、ダケカンバ林、笹地帯を抜けると、途中展望台があり、岩手山が端正な山容を見せる。最後の急斜面を登り切ると南峰の山頂へ着く。

山頂からは七時雨山はもちろん岩手山や梁神山など岩手県の名峰を一望できる。田代山ツツジサン樺道口から三方山を経て山頂まで約1時間30分。

## DATA

### ●交通アクセス

【鉄道】七時雨駐車場へはJR東北本線盛岡駅からJR花輪線に乗り換えて荒屋新町駅下車(所要時間1時間20分)、タクシー約15分。安代観光タクシー☎0195-72-2535。西根寺田登山口へは盛岡駅からJR花輪線に乗

車し平舘駅下車(所要40分)、タクシー約30分。平舘タクシー☎0195-76-2525。

【マイカー】七時雨駐車場へは東北道安代インター下車、主要地方道葛巻日影線を通り約15分。西根寺田登山口へは東北道松尾八幡平インター下車、国道282号、主要地方道岩手平舘線、県道227号を通り約40分。

## 七時雨山周辺の宿泊施設

### 田代平高原 七時雨山荘



4月下旬～11月営業  
JR荒屋新町駅からタクシー15分  
東北自動車道安代ICから車15分

七時雨山の登山口・田代平高原にある宿泊施設。施設内には天然源泉(入浴のみの利用可)や、カフェテリアがある。また、毎年7月下旬の週末には七時雨コンサート「風のつどい」が開催される。収容45名、1泊2食付7000円～、☎0195-72-2103

### 新安比温泉



通年営業  
JR荒屋新町駅からタクシー5分  
東北自動車道安代ICから車3分

海水の約2倍以上の濃度という国内屈指の強塩泉。保温効果がよく「温まる湯」と呼ばれ、日帰り入浴も人気がある。夕食には山菜やキノコなど地場産の食材を使用した会席膳が人気。収容256人、1泊2食付8550円～、☎0195-72-2110

## 七時雨山周辺の見どころ

不動の滝 高さ15mで、日本の流百選のひとつ。豪快に水飛沫を上げながら落ちていくさまは優雅の一言。

桜松神社 2本の木が仲良く結びついている縁結びの木は、結び文で願い事が叶うと伝えられている。

鹿角街道 別名旧津軽街道。南部落が鹿角地方の産金開発などのため整備したものと伝えられている。

流川 東北一の大河・北上川の上流部の川。新緑や紅葉狩りのほか、渓流釣りの名スポットでもある。

焼走り 岩手山北東の山腹に残る溶岩流跡。最大幅1km、長さ3kmに及び、国の特別天然記念物に指定。



桜松公園内の不動の滝



日本百名山・岩手山と焼走り溶岩流